

2019年7月7日(日)10:00-16:00

# 防災ゲーム Day2019in そなエリア東京

## 実施報告書

主 催

東京臨海広域防災公園管理センター  
一般社団法人防災教育普及協会

後 援

東京都教育委員会



一般社団法人  
防災教育普及協会  
[www.bousai-edu.jp](http://www.bousai-edu.jp)

# 1. はじめに

2018年は大阪府北部を震源とする地震、平成30年7月豪雨、北海道胆振東部地震など、自然災害が相次いで発生しました。これを受けて、特に気象災害（風水害、土砂災害や熱中症を含む）に関する防災教育への関心が高まりました。また、学校における児童生徒への防災教育だけでなく、広く地域住民、乳幼児（保護者）・障害者・高齢者等、災害時に特に配慮が必要とされる方々への防災教育についても求められています。

こうした現状を踏まえて、東京臨海広域防災公園管理センター様のご協力、東京都教育委員会様のご後援を得て、防災教育教材やプログラムの普及啓発を目的としたイベント『防災ゲームDay2019in そなエリア東京』を実施しました。

# 2. イベント概要

名 称 : 防災ゲーム Day2019in そなエリア東京

日 時 : 2019年7月7日(日) 10:00~16:00

会 場 : 東京臨海広域防災公園そなエリア東京

(アクセス: ゆりかめも「有明」駅徒歩2分)

内 容 : 防災ゲーム、教材、資料の展示及び体験型講座

参加費 : 無料

参加申込 : 不要(体験会は先着順)

主 催 : 東京臨海広域防災公園管理センター、一般社団法人防災教育普及協会

後 援 : 東京都教育委員会

協 力 : 防災教育チャレンジプラン実行委員会、災害救援ボランティア推進委員会



イベントポスター (左)  
タイムテーブル (右)

## 2.1 イベントの成果

2016年から続き4回目となる今回は、従来の「防災ゲーム体験会」や「展示紹介」に加え、東京臨海広域防災公園と連携し、防衛省自衛隊東京地方協力本部・警視庁・通信会社各社による「災害支援車両展示会」も開催しました。

防災ゲーム体験会では新たに「道路啓開」や「市街地火災避難」をテーマとした防災ゲームやワークショップを取り入れ、全8回の体験会には各回約20～30名が参加しました。また、平田直・本協会会長（東京大学地震研究所教授）による特別講義を実施し、約40名が聴講しました。

イベント全体の参加者は、前日から続く雨天にも関わらず、親子連れや防災関係者などを中心に1,000名以上となりました。2016年から継続して参加している出展団体に加え、新規の出展団体が増えたことにより、出展団体同士の交流の機会にもなりました。また、誰もが楽しく防災について学べるよう東北大学・シャチハタ株式会社の協力による「防災・減災スタンプラリー」を実施し、200名以上が完走しました。

参加者からは「たくさんの防災ゲームがあることに驚いた」、「対象やテーマによって使い分けることが大事だと思った」、「毎年参加しているが、新しいゲームや教材もあってとても勉強になった」といったコメントがありました。

## 2.2 イベントの内容

### ◆体験会及び出展の一覧

#### (1) 体験会 <10:00～16:00> 2階レクチャールーム

- ・道路啓開疑似体験ツール どっかん！（名古屋大学どっかん開発チーム）
- ・津波からの避難計画検証+防災教育のための「キツネを探せ！体験講座」  
(一般社団法人子ども安全まちづくりパートナーズ)
- ・ひなんくんれんゲーム（NPO 北海道防災教育研究センター赤鼻塾）
- ・自衛隊災害派遣カードゲーム（自衛隊災害派遣カードゲーム制作委員会、合資会社インク）
- ・ダイレクトロード「海辺のマンション」（樋口貴洋 神戸市消防局）
- ・災害発生！さあどうする！？  
(諏訪清二 防災学習アドバイザー・コラボレーター、株式会社明石スクールユニフォームカンパニー)
- ・災害想定ゲーム KIZUKI（NPO 法人高齢者住まいる研究会）
- ・市街地火災避難リスクコミュニケーションワークショップ（東京大学大学院工学系研究科 廣井研究室）

## (2) 展示紹介・体験 <10:00~16:00> 1階エントランス、2階踊り場ほか

- ・四季を通じて楽しめる児童館の防災プログラム（幾島浩恵 上富田ふれあいルーム）
- ・EVAG 豪雨災害編（国土防災技術株式会社）
- ・ダイレクトロード（樋口貴洋 神戸市消防局）
- ・ジュニア向け災害医療教材「災害医療クエスト」（産業技術総合研究所）
- ・ぼうさいカルタ（法政大学チーム・オレンジ）
- ・防災パネルシアター（wedo 合同会社 ホイクリー）
- ・災害インバケット（株式会社インバケット研究所）
- ・災害発生！さあどうする！？  
（諏訪清二 防災学習アドバイザー・コラボレーター、株式会社明石スクールユニフォームカンパニー）
- ・自衛隊災害派遣カードゲーム（自衛隊災害派遣カードゲーム制作委員会、合資会社インク）
- ・災害想定ゲーム KIZUKI、まちの BOSAI マスター（NPO 法人高齢者住まいる研究会）
- ・逃げ地図ワークショップ（一般社団法人子ども安全まちづくりパートナーズ）
- ・減災アクションカードゲーム（東北大学グローバル安全学トップリーダー育成プログラム）
- ・このつぎなにがおきるかな（国土交通省）
- ・小中学生向けマイ・タイムライン～逃げキッド～ほか（下館川河川事務所）
- ・カンカン塔のみはりばん（TOA 株式会社）
- ・気象庁ワークショップ「経験したことのない大雨 その時どうする？」（気象庁）
- ・学校向け教材「トランプで学ぶ自助・共助・公助」（防災教育普及協会）
- ・学校向け教材「避難誘導に協力しよう！」（防災教育普及協会）
- ・防災学習ツール（東京臨海広域防災公園）
- ・教科横断型の防災教育キット（神戸学院大学防災・社会貢献ユニット）
- ・障がい者の災害対策チェックキット（国立障害者リハビリテーションセンター）
- ・災害情報&コミュニケーション演習-DICE(ダイス)-（災害救援ボランティア推進委員会）
- ・『被災』疑似体験ワークツール-SaTa-Sen(サタセン)-（みえ防災市民会議）
- ・紙ぶるるほか「ぶるるくんのじこしょうかい」より（名古屋大学福和研究室）
- ・防災教育教材「避難行動訓練 EVAG（豪雨災害編）」（国土防災技術株式会社）
- ・災害対応カードゲーム教材「クロスロード」（チームクロスロード）
- ・防災すごろくゲーム「GURAGURA TOWN」（NPO 法人プラス・アーツ）
- ・防災カードゲーム「なまずの学校」（NPO 法人プラス・アーツ）
- ・防災カードゲーム「シャッフル」（NPO 法人プラス・アーツ）
- ・避難所運営ゲーム「HUG」（静岡県）

- ・災害状況イメージトレーニングツール「目黒巻」(東京大学生産技術研究所目黒研究室)
- ・学校向け教材「うさぎ一家の防災グッズえらび」(防災教育普及協会)
- ・学校向け教材「災害状況を想像する力を身につけよう」(防災教育普及協会)
- ・学校向け教材「災害時のコミュニケーションを学ぼう」(防災教育普及協会)
- ・学校向け教材「災害時のトイレアクションを考えよう」(NPO 法人日本トイレ研究所)
- ・幼児向け防災教育用カードゲーム「ぼうさいダック」(一般社団法人日本損害保険協会)
- ・小学生向け防災教育プログラム「ぼうさい探険隊」(一般社団法人日本損害保険協会)
- ・防災教育教材『カードで学ぶ非常持出袋』(神戸学院大学防災・社会貢献ユニット)
- ・iPad 防災教育アプリ「スキナのセレク島」シリーズ(パステルハートプロジェクト)
- ・「地域における防災教育の実践に関する手引き」(内閣府防災担当)
- ・東京防災及び防災ノート小学校～高校版(東京都)

#### ◆専門家による特別講義&防災ゲームコンシェルジュ

当日は防災ゲームや教材、プログラムの体験に加えて専門家による特別講義や防災ゲーム、教材、プログラムに関するコンシェルジュカウンターの設置を行います。防災ゲームや教材をより有効に活用するための知識習得から気軽な相談まで対応します。

##### (1) 特別講義 <12:45~13:15>

『首都直下地震に関する短時間の特別講義』

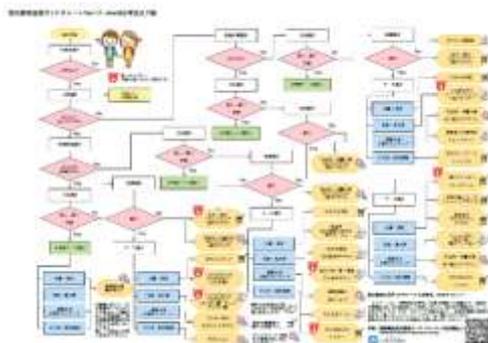
講師：一般社団法人防災教育普及協会会長・東京大学地震研究所教授 平田 直

##### (2) 防災ゲームコンシェルジュ <終日>

『ご要望に応じて、オススメの防災ゲームや教材を紹介』

コンシェルジュ：一般社団法人防災教育普及協会教育事業部長

宮崎 賢哉(災害支援・防災教育コーディネーター/社会福祉士)



(防災教材活用ガイドチャート)

### 3. イベントのようす

東京臨海広域防災公園管理センター 2 階のレクチャールームにて『体験講座』を開催しました。また 1 階エントランスホールと 2 階展示エリアにて『展示・体験コーナー』を設置しました。

#### 3.1 体験講座

##### ◆道路啓開疑似体験ツール どっかん！（指導：名古屋大学どっかん開発チーム）

3つの市からならボード上に、避難所や物資拠点などが配置されており、災害で壊れた道路を使用できるようにする「道路啓開」を体験できるすごろく型のゲームです。参加者は聞き慣れない「啓開」という言葉の意味や役割、ポイントなどを楽しみながら学びました。



##### ◆津波からの避難計画検証＋防災教育のための「キツネを探せ！体験講座」（指導：一般社団法人子ども安全まちづくりパートナーズ）

キツネを探せ！では、キツネ面に装着されたカメラから参加者の持つスマートフォンに目線映像が配信されます。映像を頼りにキツネを探す、遊びながら津波等からの避難経路を学べるプログラムです。参加者は実際に館内を移動しながらプログラムを体験しました。



#### ◆ひなんくんれんゲーム（指導：NPO 北海道防災教育研究センター赤鼻塾）

ひなんくんれんゲームは、子どもたちが楽しみながら避難行動や避難支援について学ぶことができるゲームです。参加者は会場内を移動しながらゲームを体験しました。



#### ◆ダイレクトロード「海辺のマンション」（指導：樋口貴洋・ゲーム開発者）

バラバラの情報を共有して全体像を把握する「ジグソーメソッド」という学習方法を用いて神戸市消防局職員の方が開発したカードゲーム型の防災訓練教材です。参加者は災害対応に必要な行動や考え方をゲーム形式で学びました。



#### ◆自衛隊災害派遣カードゲーム（指導：自衛隊災害派遣カードゲーム制作委員会）

自衛隊の車両や隊員を組み合わせ、限られた予算・時間のなかで、災害に対応していくカードゲームです。参加者は自衛隊の災害支援車両の機能や役割について学びました。



#### ◆災害発生！さあどうする！？（指導：諏訪清二 防災学習アドバイザー・コラボレーター）

災害発生からの対応や課題について、時系列で考えていくワークショップです。参加者は防災教育の第一人者として知られる諏訪清二先生から、災害の教訓などを踏まえた災害対応のポイントについて学びました。



#### ◆災害想定ゲーム KIZUKI（指導：NPO 法人高齢者住まいる研究会）

福祉施設での災害対応について、限られた物資や人員のなかで対応していく対戦型のゲームです。参加者は福祉施設の利用者の状況を考慮しながらも、優先順位を考えて対応していく大切さなどを学びました。



#### ◆市街地火災避難リスクコミュニケーションワークショップ（東京大学大学院工学系研究科廣井研究室）

首都直下地震等での市街地で大火災からの避難について考えるワークショップです。参加者は地域の特性などを考慮しながら、避難する方法について学びました。



### ◆ 1階展示エリア・屋外エリア

1階展示エリアでは、児童館の防災プログラム、EVAG 豪雨災害編、自衛隊災害派遣カードゲーム、逃げ地図ワークショップ等の展示体験を実施しました。屋外エリアでは「災害支援車両展示会」も実施しました。



### ◆ 2階展示・体験エリア

2階展示エリアでは、ぼうさいカルタ、ダイレクトロード、災害発生！さあどうする！？、自衛隊活動紹介、防災パネルシアター、このつぎなにがおきるかな、災害インバケット、まちのBOSAI マスターほか、各種資料・教材の展示紹介などを行いました。





#### ◆特別講義・コンシェルジュカウンター

12:45からは2階レクチャールームで首都直下地震に関する特別講義を実施しました。また防災教育・防災ゲームに関する相談に応じる「防災ゲームコンシェルジュ」を常駐させ、参加者からのご相談に対応しました。



#### ◆防災・減災スタンプラリー（協力：東北大学×シャチハタ株式会社）

6つの問題に5つの選択肢から回答を選んでスタンプを押すことで、防災・減災について学びながら自分の「防災タイプ」を発見できるスタンプラリーを行いました。小学生以下の児童を中心に200名以上がスタンプラリーを完走しました。



## 3.2 出展者・来場者様からのご意見（抜粋）

本イベントにご出展いただきました各団体の皆さま、来場者様からのご意見を紹介します。

- ◆ 毎年参加しているが、年々規模が大きくなってきており、参加者も増えている印象を受けた。雨天にも関わらず、来場者が絶えなかった。社会的にも関心が高まっているのを感じた。
- ◆ 地域の防災訓練がマンネリ化しているので、何かヒントがないかと思って参加した。いろいろな防災ゲームがあり、子どもから大人まで楽しめるものがあって参考になった。ぜひ地域の訓練でも使ってみたい。
- ◆ 購入したはいいが、使う機会がなく困っている教材があったので、勉強したいと思って参加した。コンシェルジュの方に丁寧に教えてもらうことができよかった。
- ◆ 自衛隊がカードゲームを作っていることをはじめて知った。なかなか学ぶことのできない内容なので、よい経験になった。
- ◆ 企業研修のヒントになればと思って参加した。防災ゲームというと学校や子供向けのイメージがあったが、地域の訓練や民間企業でも役に立つものがあると感じた。実際に購入して使ってみたい。

## 4 おわりに

東京臨海広域防災公園管理センター・本協会主催の「防災ゲーム Day」も本年で4回目となりました。自衛隊の皆さまによるカードゲーム紹介や災害支援車両展示、日本ミクニヤ様による道路啓開疑似体験ツールなど、新たな取り組み・ゲームなどを積極的に取り入れつつ、毎年ご出展いただく団体・個人の皆さまにもご協力いただきました。

参加者数、出展団体・防災ゲームや教材の数も年々増えており、防災ゲームに対する社会的関心の高まりを主催者としても実感しています。今後とも防災教育の普及啓発にご協力賜りますよう、お願い申し上げます。

【 一般社団法人防災教育普及協会 】

〒102-0073 東京都千代田区九段北 1-15-2 九段坂パークビル 3 階

TEL.03-6822-9903 <https://www.bousai-edu.jp/>



一般社団法人  
防災教育普及協会  
[www.bousai-edu.jp](http://www.bousai-edu.jp)